

佐久町誌 歴史編一 原始・古代・中世 目次

口絵

発刊のことば

監修にあたつて

例言

佐久町誌刊行会長 高見澤勝之
松戸市立博物館長 岩崎卓也

第一章 佐久町の自然環境

第一節 人が住めるようになった環境

3

一 地史における地殻変動

5

二 佐久町の地形
第四紀／第四紀の地質／八ヶ岳噴出
物／湖成堆積物／八千穂層群／南佐
久層群／千曲川泥流／ローム

12

第二節 旧石器時代

第一節 人類の誕生

17

一 人類の誕生
ひとのあゆみ

二 旧石器時代

20

旧石器時代／日本の旧石器時代／佐
久町と旧石器時代

三 さまざまな環境と旧石器時代人
氷河と人類／火をふく山々／氷河期
の植生／動物

23

第二章 旧石器時代

四 暮らしと文化
日々の暮らし／衣食と文化

30

五 石器からみた道具	36
生活の道具／石器／石器の観察／石器の種類／石器の石材	
六 石器群のうつり変わり	51
石器群／石器群の変遷	
第二節 双子池・双子山をふくむ「蓼科」	
「八ヶ岳」原産の黒曜石	58
一 旧石器時代の黒曜石のうごき	58
黒曜石／双子池・双子山／蓼科系黒曜石の使用／黒曜石の動き／黒曜石	
原産地と遺跡	
第三章 繩文時代	
第一節 繩文時代の暮らしこと文化	75
一 繩文時代の自然環境および時期区分	75
土器の出現／時期区分と移り変わる環境	
二 集落と住まい	78
集落の構造／竪穴住居	
三 暮らしにともなう道具	85
土器の用途と器種／土器の作り手／調理加工工具の磨りうす／磨り石／土を掘り耕す石器／木を伐る斧と木工具／狩りをする弓矢	
四 生業	104
遺跡から出土した栽培植物の種子／畑作／採集／狩猟／漁撈	
五 衣服と装身具	115
衣に関わる出土遺物／装身具の移り変わり／敷物 かご 袋などの生活用具	
六 繩文人の生と死	128
死と再生／誕生を示す土器／出土した人骨／死	

七 豊穣のいのり	石棒のふるさと／石棒のまつり／彫刻のある石棒／墓	143
八 地域を越える資源の流れ	土器文化と黒曜石の流れ／資源の移動	152
第二節 佐久町に住みついた人びとの足あと		157
一 草創期（一万三〇〇〇年～一万年前）		157
縄文時代の夜明け		157
草創期の遺跡		
二 早期（一万余年～六〇〇〇年前）		
佐久町最初の住人		162
佐久町にやってくる／貝殻で文様をつける文化／狩猟は落し穴／織維入りの土器／最初の住人の顔		
三 前期（六〇〇〇年～五〇〇〇年前）		
開拓精神あふれた人びと		175
第四章 弥生時代		
第一節 弥生時代のあらまし		
後期の佐久西小学校裏遺跡の文化／小川を築いた人びと／祭祀の場／再び後平の地に住んだ人びと／石剣／石刀への発達		207
五 後期・晩期（四〇〇〇年～二三〇〇年前）		
鉄平石を使つた原産地の敷石住居		
環境の変化／宮の本遺跡／配石遺構／後期の佐久西小学校裏遺跡の文化		
再び後平の地に住んだ人びと／石剣／石刀への発達		
四 中期（五〇〇〇年～四〇〇〇年前）		
日本一大の石棒文化を築いた人びと		195
佐久西小学校裏遺跡／館遺跡		

ピーコに達する遺跡／打製石包丁と栽培植物／上ノ原の段丘に住む／清水上の丘に住む

一 弥生文化の成立と発展	247	二 食料と衣服 装身具	276
弥生時代の始まり／稻作の広がり		米と雑穀／衣服／装身具	
二 稻作の起源と伝播	249	三 弥生土器の特色	279
弥生時代の水田		縄文土器から弥生土器へ／佐久地方 の弥生土器	
三 農工具の発達	253		
四 金属器の使用	255		
第二節 佐久町の弥生時代遺跡	257	第五章 古墳時代	
一 波及期の遺跡	257	第一節 古墳が造られた時代	
二 土偶形容器は語る	262	一 古墳出現の社会情況	287
三 最盛期の遺跡	265	古墳の副葬品／出現期の古墳／古墳 の被葬者／ヤマト王権と東アジア	
第三節 弥生人の生活と文化	268	二 信州の古墳とその移りかわり	
住まいとムラ	268	前期の古墳／最古の前方後円墳／中 期の古墳／北西ノ久保古墳群／積石 塚古墳群／割竹形木棺と粘土櫛／伊 那地方の古墳／後期の古墳／終末期 の群集墳／馬具の出土	
住居のつくり／環濠集落と高地性集 落／人々の墓		298	287

三 南佐久郡の終末期古墳の内部構造···	320
横穴式石室の形式と構造／佐久町域 の南限古墳	
三 佐久郡の郷···	356
郡内の郷名／余戸郷	
第二節 古墳時代の社会と生活···	330
初期集落の解体と移動 ···	330
須恵器窯と大型鍛冶炉	
二 古墳時代後期の集落と生活 ···	332
村のようす／食糧生産／生活のよう す	
第六章 奈良・平安時代	
第一節 佐久郡の律令制社会 ···	341
一 律令制社会 ···	341
佐久郡／律令のころ／班田の支給／ 役人の給料／地方の役人／律令の税 制	
二 佐久町の地形と遺跡分布 ···	370
中央平地の形成／大聖寺扇状地／湧 水が多い上区	
三 奈良 平安時代のすまい ···	378
堅穴住居／カマド／住居内の利用／ 掘立柱建物	
四 人々のくらし ···	385
二 信濃国佐久郡の成立 ···	350

当時の食材／つかわれた食器

第三節 保元 平治の乱と佐久武士

第七章 中世

一 保元の乱

保元の乱おこる／参加した信濃武士／保元の乱の結果

429

一 中世初めの佐久町の様相

395

中世の遺跡／のこっている伝承

二 荘園の発達と武士のおこり

400

莊園の発達／佐久の莊園／佐久の公領／源氏の土着／在庁官人／平賀氏の興隆／平賀氏信濃に入る／滋野氏を祖とする望月氏／佐久町の私牧

三 平家の隆盛と清盛の死

435

平氏政權／平清盛の死

二 平治の乱

432

平治の乱おこる／平清盛の反撃／平治の乱と佐久武士

第四節 木曾義仲の挙兵と佐久武士

439

一 木曾義仲と佐久武士

439

木曾義仲の挙兵／木曾義仲軍の本拠地／横田河原の戦い／頼朝と義仲の不和／俱利迦羅峠の合戦／信濃武士の騎馬軍

第二節 木曾義仲（駒王丸）木曾にのがれる

416

一 源氏の台頭

416

武家の棟梁／源義朝 義平と関東／源義賢の活動と大藏館合戦／駒王丸

母子の逃避行／駒王丸木曾にかくれる

二 木曾義仲の入京

449

院政と義仲／水島合戦／法住寺攻め	三 悲劇の武将木曾義仲	456
義仲の没落／巴御前と山吹／木曾義仲の最期／根井行親親子の忠誠心	一 鎌倉幕府の成立と佐久武士	461
第五節 鎌倉時代	二 鎌倉幕府の機構整備／守護 地頭の設置	461
第六節 承久の乱	三 甲斐源氏佐久に入る	462
公卿將軍の鎌倉到着	四 小笠原氏／源頼朝と平賀義信／源氏將軍の断絶へ	467
第七節 霜月騒動	五 泉親衡事変	478
第八節 南北朝時代	六 伴野氏の復活	478
第一回 承久の乱と佐久武士	一 後醍醐天皇の建武中興	471
承久の乱の経過／大井氏の興隆	二 後醍醐天皇の倒幕／建武の中興と佐久武士／建武新政と伴野荘／大徳寺の伴野荘支配／伴野荘郷村の年貢	473
長房／伴野長房戦死／大井氏の勢力	三 公卿將軍の誕生	471
公卿將軍の鎌倉到着	四 泉親衡の乱	471
二 伴野長房の活動／觀応の擾乱と伴野長房／伴野長房戦死／大井氏の勢力	五 公卿將軍の誕生	471
二 伴野氏の復活	六 伴野氏の復活	471

第九節 室町時代 504

一 室町幕府の成立と佐久武士 504
 相国寺供養と伴野長信／守護と国人
 武士／大塔合戦と佐久武士／幕府の
 信濃直轄支配／佐久の国人勢力／伴

野氏系譜とその活動／大井氏の強勢
 ／鎌倉公方と幕府の不和／大井持光

の芦田氏討伐／永寿王丸と大井持光
 ／佐久郡内伴野氏の活動／京都で活

動した伴野氏／依田窪上城の大井氏
 ／前山城主伴野氏の活動／御符札之

古書と伴野氏／伴野氏の執事鷹野氏
 の活動

二 鷹野郷と鷹野氏 538
 小山寺窪の五輪塔と鷹野氏

三 織田信長軍の余地峠越え 571
 戰国末期の佐久町／佐久郡貫之御帳
 と佐久町／佐久町の主要地名

四 佐久町を中心とした戦国末期の所領 573
 戰国末期の佐久町／佐久郡貫之御帳
 と佐久町／佐久町の主要地名

第一〇節 武田氏の支配 544

- 一 武田氏の佐久侵略 544
 武田信虎の佐久侵略／武田晴信の諫
 訪侵略／武田晴信の佐久侵略／武田
 氏信濃平定と佐久／武田晴信の信濃
 攻略／余地峠は関東へ最短路／板碑
 の流入／武田晴信の上野攻略／地下
 式坑／地下式坑の構造／出土した遺
 物／地下式坑の用途／機能
- 二 武田信玄父子の対立 569
 下之郷神社起請文
- 三 織田信長軍の余地峠越え 571
 佐久町と余地峠
- 四 佐久町を中心とした戦国末期の所領 573
 戰国末期の佐久町／佐久郡貫之御帳
 と佐久町／佐久町の主要地名
- 第一一節 中世の信仰 578
 修驗道の発達

修驗道の山／堂古屋と相沢寺の仏面 ／修驗者の活動	584
二 諏訪神社信仰
高野町諏訪神社／上区諏訪神社／大 日向諏訪神社／余地諏訪神社	594
三 中世の寺
明光寺／生往院／自成寺／桂霄寺／ 千手院津金寺	594
四 小山寺窓遺跡の発掘調査
検出された遺構／埋葬方法と副葬品 ／五輪塔	601
五 津金寺伝承と千手院の縁起	613
寺の開基／寺の移転／常行三昧の念 仏／小山村と神楽村／津金寺草創の 謎	686
第一二節 佐久町域の城館 一 城館跡の歴史と現況	620
佐久町の遺跡	647
地区別遺跡分布図	
佐久町遺跡一覧表	
引用・参考文献
佐久町誌刊行会
執筆者および分担項目
あとがき
原始 古代 中世 執筆者一同	
城館跡の分布／樋六郎親忠の居館／ 大涯城／福田城／高野城／花岡城／ 勝見城／中居城／海瀬城	